

ミヒヤエル (2011)

MICHAEL

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 オーストリア
色彩 Color
時間 96分

【解説】
キャスティング・ディレクターとして数々の作品に携わってきたマルクス・シュラインツァーの初監督作品。児童誘拐、監禁といったタブーに挑む問題作。ダブリンやフィラデルフィアなど数々の世界映画祭で多数の賞を受賞した。出演はミヒヤエル・フイト、ダヴィド・ラウヘンベルガーら。
保険会社に勤める35歳のミヒヤエルは、しがない独身男。知り合いといえば、近所に住む同僚のクリスタくらい。しかし彼には誰にも言えない隠し事があった。それは、家の中に10歳の少年ウォルフガングを監禁していること…。夜のみ、少年は部屋を出ることを許され、数時間を過ごした後にはまた次の夜まで閉じ込められるのだ。ところがある日、ミヒヤエルが交通事故に遭い入院することになってしまう。

【クレジット】		
監督	マルクス・シュラインツァー	Markus Schleiner
製作	ニコラウス・ゲイハルター	Nikolaus Geyrhalter
	マルクス・グラザー	Markus Glaser
	ミヒヤエル・キッツベルガー	Michael Kitzberger
	ヴォルフガング・ヴィダーホーファー	Wolfgang Widerhofer
製作総指揮	ミヒヤエル・キッツベルガー	Michael Kitzberger
脚本	マルクス・シュラインツァー	Markus Schleiner
撮影	ゲラルト・ケルクレッツ	Gerald Kerkletz
編集	ヴォルフガング・ヴィダーホーファー	Wolfgang Widerhofer
出演	ミヒヤエル・フイト	Michael Fuith
	ダヴィド・ラウヘンベルガー	David Rauchenberger
	クリスティーネ・カイン	Christine Kain
	ウーズラ・シュトラウス	Ursula Strauss